

小林組の先輩ってどんな人？

20代の社員にインタビューしました!!



土木事業部
富樫 治聖
2023年 中途入社

担当している仕事は？

土木施工管理を担当しています。
現在は現場代理人として、『ほ場』の区画整理を行っています。



最近、仕事で 嬉しかったことは？

現在、担当している工事の進捗が把握できたことと、完成形が見えてきたことです。

工事を開始した春頃、メインに行っていた作業はパイプラインの布設や側溝(U字溝)の据付でした。

これらは稲作や道路排水に必要なものですが、どちらも工事の完成形をイメージできる工種ではありませんでした。

夏に差し掛かると整地作業が始まり、田んぼとして大きな一枚が次々に出来上がっていききました。

工事の進捗を把握するためにドローンで空撮をした際、当時とは見違えるほど工事が進んでいて驚きと達成感がありました。

この仕事の苦勞する点 や難しい点は？

周囲の社員や協力業者とのコミュニケーションです。

コミュニケーションは仕事を進める上で最も重要であり、難しい点でもあります。

自分の考えを正確に伝えられないと、予期せぬ結果や事故につながる可能性があるため、相手が理解するまで時間をかけて伝える努力が必要です。

建設業界では幅広い世代の人々と働く機会が多く、年下や年上の職人・作業員と接することもあります。

社会人として、年齢に関わらず全ての人に敬意を持って接し、円滑なコミュニケーションを図ることが求められます。

この会社を選んだ 理由は？

小林組に勤めている同級生の紹介で中途入社しました。

前職が線路の建設に関わる仕事だったため、転職をするなら建設業がいいと考えていました。

「建設業と言えば土木」というイメージが自分の中にあり、土木建設業に挑戦したいと思い、小林組に入社しました。

職場の雰囲気は？

社員同士の人間関係がとても良いです。

最近では10代・20代の社員も増え、年齢の近い社員とは小さなことでも気軽に相談できます。

年の離れた先輩や上司は、不安な表情を読みとって「何かあったか？」と優しく相談に乗ってくれます。

時には厳しい指導もありますが、それは期待の表れだと感じ取れるほど、信頼関係が出来上がっています。

休憩時間には、仕事の話だけでなく、プライベートの話もできるほど居心地のいい職場です。



学生の皆さんに一言！

私は、土木学科を専攻していた訳ではなく、当時は測量機器の使い方も分かりませんでした。

経験の無い自分が、スケールの大きい仕事ができるのかと、不安でいっぱいでしたが、挑戦したい気持ちを抑えられず、小林組に飛び込みました。

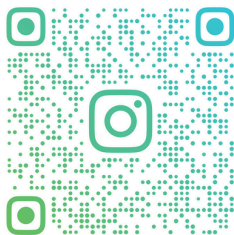
入社してからは、初めてのことでだけでしたが、新人として、様々な現場で仕事を学び、経験を積んで現在は現場代理人として働いています。

この経験から、やる気がある人には無限の可能性が広がっていると実感しました。

学生の皆さんには、挑戦を恐れず、前向きな姿勢を大切にしてほしいです。

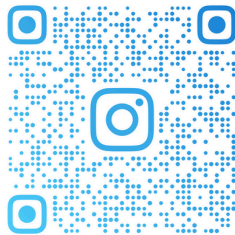
小林組 公式SNS

工事の実績や
採用情報はこちら //



KOBAYASHIGUMI

日々の様子や
雰囲気はこちら //



CHANNOLENS

1日のスケジュールを教えてください！

7:30

出社

社有車に乗り換えて現場事務所へ

8:00

業務開始

- ・朝礼(1日の動きや注意点などを確認)
- ・現場巡視(盗難や飛散物がないか)
- ・写真撮影(現場の状態や工事に使用する材料などを撮影)

10:00

15分休憩

夏場は、この時間以外にもこまめに休憩を取ります！

10:15

業務再開

- ・現状の進捗状況を確認
- ・午後の予定を確認

12:00

お昼休み

- ・現場事務所でお弁当
- ・食後はお昼寝など各自自由に過ごす

13:00

業務再開

- ・ミーティング(進捗状況や午後からの作業内容など)
- ・写真撮影(午前との比較や作業の進捗状況を撮影)
- ・書類整理(撮影した写真の整理や必要な書類の作成)

15:00

15分休憩

15:15

業務再開

- ・現場の進捗状況を確認
- ・翌日の予定を確認

17:00

業務終了

本社へ戻り、車を乗り換えて帰宅